

2019年11月

【月報】

## 鶏舎におけるネズミ対策について成果を講演

10月31日に愛知県豊橋市で開催された家禽防疫対策研究会(主催:豊橋市畜産防疫対策協議会)において、当センター2名の研究員が「鶏舎におけるネズミの行動と防除」と題し講演を行いました。防疫上、鶏舎におけるネズミ対策の重要性はますます高まっているものの、全国的に防除対策の実証事例は少ない状況にあります。当センターでは2年前からネズミの侵入経路の解明について試験研究として取り組み、府内の農家に対し防除対策研修会や現地対策指導を行ってきまし

た。今回そうした実績を評価され、講演を依頼されたものです。

発表に対してフロアから鶏舎での対策の注意点やセンサーカメラの撮影方法など、具体的な質問が多く寄せられ、参加者の関心の高さがうかがえました。今後も、研究の成果を分かりやすくまとめ、府内農家の経営安定のため普及に取り組んでいきます。

畜産センター



当センター研究員の発表

## 【管内情報】

### 冬に備えて牛の放牧を終了

当场では、分娩後の健康増進や安産のための足腰強化を目的に、本年も4月24日から和牛の成雌と乳用育成牛の放牧を行ってきました。雪の季節を迎えるにあたり、11月27日に最後まで放牧されていた1群10頭の和牛を牛舎に収容し、今年の放牧管理を終了しました。

冬の間牛たちは、牛舎内でお産や子育てを行い、放牧場に若葉が芽吹く来春にはまた放牧されます。



職員に誘導され、足早に牛舎へ向かう牛たち

畜産センター碓高原牧場

### 「肉用牛経営向上技術研修会」を開催

11月28日、当场研修室において「肉用牛経営向上技術研修会」を開催しました。本研修会は、和牛の改良や高品質牛肉生産技術の普及・定着を通じて肉用牛経営の一層の向上を目的に毎年開催しており、今年も和牛農家やJA職員等49名の参加がありました。

報告と講演の2部構成で、報告では「マニュアル認定子牛の現状」と題して当场職員が、市場性の高い子牛づくりを目的に平成23年度に開始されたマニュアル子牛認定制度の認定実績や認定率が高い農家の子牛づくりの特徴などを紹介しました。また、講演では（公社）全国和牛登録協会の穴田専務理事を迎え、「第12回全国和牛能力共進会に向けた全国の取組」と題して、優良雌牛の地域内保留など和牛農家がワンチームとなって改良に取り組むことが上位入賞を狙う第一歩など具体例を引用しながらわかりやすく講演をいただきました。

意見交換では、「上位入賞を目指し関係機関等とも連携しながら取り組んでいきたい」など多くの意欲的な発言があり、有意義な研修となりました。



参加者と講演者との活発な意見交換

畜産センター碓高原牧場